

くわくビレッジ」が誕生します！

平成17年度「高尾の森くわくビレッジ」社会教育事業

東京都教育委員会の委託により、年間を通して主に青少年や親子を対象にした様々な社会教育事業を行います

生き物をテーマにする 「くわく木材造形コンテスト」	廃材や、林等に落ちている木切れを使って、生き物をテーマとする木材造形コンテストです。	小学生～22歳以下までの成人	10月～12月に公募 2月に表彰式・評価会 3月に展示会
くわくビレッジ 「サバイバー入門キャンプ」	基本的な野外知識を学んだ上で、より高度な野外テクニクに挑戦します。	小学3年生～中学3年生 30名	8月2日(火)～4日(水) 2泊3日
ボランティア・リーダー養成講座Ⅰ 「キャンプリーダーを目指して」	地域でのボランティアリーダーとして活躍する(している)青年を対象にキャンプの基礎を学ぶ講座です。	大学生等 40名	5月～7月 全11回 日帰り
ボランティア・リーダー養成講座Ⅱ 「障害者理解を目指して」	地域でのボランティアリーダーとして活躍する(している)青年を対象に障害者の理解を実技やワークショップ等を通して学ぶ講座です。	高校生以上等 30名	1月～3月 全11回 日帰り
子育て支援キャンプⅠ 「おやじと子のくわく親子キャンプ」	普段、触れ合う時間が少なくなりがちな父親(母親でも可)と子のキャンプ。キャンプ技術を身に付けながら親子で触れ合いの機会にします。	父(母)と子(対象:小学生、兄弟参加可) 20組 40～50名	10月1日(土)～2日(日) 1泊2日
子育て支援キャンプⅡ 「わいわい子育てキャンプ」	一人親(父・母いずれも可)とその子どもが参加するキャンプ。親子でリフレッシュしながら、親同士の情報交換や交流の機会にします。	母(父)と子20組(対象:3才児～小学生、兄弟参加可) 20組 40～50名	11月5日(土)～6日(日) 1泊2日
1泊避難体験 「防災意識を高めよう」	9月の防災の日になんで体育館での避難体験を通じて防災の重要性、被災者の理解をはかります。	小学生 50名	8月29日(月)～30日(火) 1泊2日

生き物をテーマとする「くわく木材造形コンテスト」

通常であれば捨てるはずの木材や、林等に落ちている木切れを使った生き物をテーマとする木材造形コンテストです。ただのモノとなった木材に再び『生命』を与えるという作業を通し、自然や環境を身近に感じながら、創造性・表現力をみがきます。

対象:小学生から22歳までの成人。個人でもグループでも応募できます。

募集期間:平成17年10月から12月。

審査と発表:木工や図工の専門家などで構成される審査委員会で審査し、結果は2月に発表、3月には「高尾の森くわくビレッジ」で展示会も行います。

今からでも準備をはじめてドシドシ応募してください。詳しくはホームページを御覧ください。

アイスホッケー国体開催される

2月2日から6日まで、東京都では初めてとなる冬季国体アイスホッケー競技の熱戦が繰り広げられました。全国各地から28都道府県、1,009人の役員・選手団が参加し、北海道が総合優勝を飾りました。東京都は成年男子が2年連続の優勝、総合でも第3位に入賞しました。

また、この大会の期間中、都民の皆様がウィンタースポーツに親しんでいただくとともに、親子でのふれ合いを深めていただけるよう『親子アイスホッケー体験教室』を開催しました。開催にあたっては、用具の提供から指導に至るまで東京都アイスホッケー連盟の御協力をいただきました。

初めて手にするアイスホッケーのスティックに戸惑いつつも、お父さん、お母さんの励ましの声かけもあり、どの子も体験教室が終わる頃にはバックを見事にゴールに入れることができるようになりました。

また、「行くよ。」と声をかけながら行った親子パスも回数を重ねるごとに親子の息が合ってきて、お互いがとりやすい場所へバックを打てるようになりました。汗びっしょりになりながら、スポーツを

通して親子のふれ合いを深められた1時間となりました。この親子での体験がアイスホッケー国体とともに心に残る思い出となることを願っています。

